

2025年度 授業コード：13102900

授業科目	国際経済入門（オンデマンド）				実務家教員担当科目	-	
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	池口 功晃						
授業概要	貿易、地域統合、外国為替、国際金融、国際通貨、貧困問題、環境問題など、国際経済およびその諸問題について主要な論点を学びます。						
授業形態	オンライン授業			授業方法	Classroom を活用し、動画の配信およびレポート提出等を行う。		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"><li>国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策・自由貿易協定(FTA並びに日本のEPA)をめぐる問題を説明できる。</li><li>外国為替相場を決定する要因、相場の変動が国内経済に与える影響を説明できる。</li><li>通貨危機・金融危機がどのように発生するのか、日本にどのような影響を与えるのか説明できる。</li><li>途上国の貧困問題や環境問題を説明できる。</li></ol> <p>国際経済に関する基本的な知識を身に付け、説明することができる。</p>
理想的レベル	国際経済に関するさまざまな新聞・雑誌記事を理解できるようになる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	100%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 ○ DP3 ○ DP4 - DP5 - ナンパリング T021403J

學習課題（予習・復習）

### 1回の目安時間（時間）

該当部分の復習

---

4

授業計画

授業計画	
第1回	授業ガイダンス、国際経済とは何か
第2回	貿易理論・世界と日本の貿易
第3回	財政政策・金融政策
第4回	貿易政策、世界の貿易体制、FTA
第5回	地域統合、APEC
第6回	閉鎖マクロ経済モデル
第7回	開放マクロ経済モデル（基礎）
第8回	開放マクロ経済モデル（応用）
第9回	為替レートの決定

第 10 回	国際通貨、金本位制、ブレトンウッズ体制
第 11 回	経済発展と経済開発、GDP 指標の限界
第 12 回	多国籍企業
第 13 回	世界の貧困問題と ODA
第 14 回	地球環境問題と経済学
第 15 回	総まとめ
テキスト	毎回、講義レジュメを配付します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	多和田眞（2010）『コンパクト国際経済学』（新世社） 阿部顕三・遠藤正寛（2012）『国際経済学』（有斐閣）
課題に対するフィードバックの方法	ミニレポートは採点後、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	経済学の入門レベルの講義を履修しておくことが望ましいですが、授業を通して講義に必要な知識を隨時復習していきます。 普段から経済記事や経済ニュースを意識するようにしてください。